

令和7年度文化庁連携プラットフォーム
文化のこころ継承プロジェクト

令和6年度の総会において、文化を社会のあらゆる分野に活かした新たな潮流を生み出すための取組の一つとして、古来、日本人が大切に守ってきた自然との関わり、人への思いやり、礼儀、周辺への気遣いなど、伝統的な日本文化のこころを次世代に継承する「文化のこころ継承プロジェクト」を計画。

当プロジェクトについては、文化庁委託事業※を活用する形で文化庁と連携するとともに、関係機関の御協力をいただきながら、実施。

※【文化庁委託事業】令和7年度文字・活字文化資源活用推進事業（R7 新規事業）

地域における文字・活字文化の発信拠点・担い手である書店、出版社、文学館、図書館、大学等関係機関が連携し、協働するなどして実施する特色ある取組（地域に存する文芸作品等を活用した取組等）を支援し、文字・活字文化の振興モデルの構築に向けた調査研究を実施する。

1 プロジェクトの概要

日本人が古来大切に守り育んできた伝統的な日本文化のこころを次世代に継承し、文字・活字文化の振興に繋げることを目的に、京都府書店商業組合と連携して、「KYOTO BOOK PARK2025」※を開催。

※KYOTO BOOK PARK2025 開催概要

開催日：令和7年11月8日（土）、9日（日）

開催場所：梅小路公園七条入口広場（京都市下京区観喜寺町 56-3）

内容：大学サークルによる絵本の読み聞かせ会、朗読コンテスト受賞者による朗読会、書店・図書館・梅小路公園を繋ぐスタンプラリー 等

主催：京都府書店商業組合

共催：文化庁連携プラットフォーム、出版文化産業振興財団

2 事業内容

(1) 実施体制

- 京都府書店商業組合を中心に、文化庁連携プラットフォームの構成団体が連携
- 京都府内の書店、図書館、大学等が事業実施に協力

(2) 連携事業実施内容

<KYOTO BOOK PARK2025（メインイベント）内で行う取組（11月8日、9日）>

○ 大学サークルによる絵本の読み聞かせ会

子どもとその保護者を対象に、京都府にまつわる童話や昔話の読み聞かせを行い、文字・活字文化に親しむ機会の創出を図る。

（協力団体）

・嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学「あらし山びこ」（11月8日出演）

・京都華頂大学・華頂短期大学「ぐりとぐら」（11月9日出演）

○ 「古典の日」朗読コンテスト受賞者による朗読会

日本語の美しい表現やリズムを体感し、古典の素晴らしさや古典に親しむ大切さを知る機会を創出することで、古典に宿る日本文化の次世代継承を図る。

（協力団体）

・公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー

○ 古典を読み解く文化講座

古今和歌集などの古典を通じて、日本人が大切に守ってきた自然との関わり、人への思いやり、礼儀、周辺への気遣いなどの理解を深め、日本文化の興味・関心の向上を図る。

（協力団体）

・京都府書店商業組合、一般社団法人日本書籍出版協会京都支部

<文字・活字文化の発信と気運醸成を図る取組（10月～11月）>

○ 京都府内の図書館に京都に伝わる伝承・昔話、京都ゆかりの作家や京都を舞台にした小説などをテーマにした展示コーナーの設置

○ 図書館の自主事業等に「KYOTO BOOK PARK 2025 開催記念」の冠を付記

○ 京都府内の書店、図書館、梅小路公園を繋ぐスタンプラリーの実施

（協力団体）

・京都府内の公立図書館・書店

・京都華頂大学・華頂短期大学図書館

・嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学図書館